

第14回 (令和7年11月)

宮津市教育委員会  
定例会議事録

令和7年11月28日開会

## 第 14 回（令和 7 年 11 月）宮津市教育委員会定例会会議録

日 時 令和 7 年 11 月 28 日（金）午前 9 時 00 分～

場 所 宮津市福祉・教育総合プラザ応接会議室

出席者 山本雅弘 伊藤正 尾崎里花子 藤井陽子 林亘浩

事務局 永濱教育次長 河合学校教育課長 河森文化財保護担当課長 大見総括指導主事  
森本学校教育課参事 井上学校教育課参事 細見（晋）指導主事 小牧学校教育  
係長

（傍聴者なし）

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 会議録署名委員の指名

4 会期の決定

5 教育長報告

6 議 事

議第 25 号 宮津市教育委員会事務事業点検評価について

7 その他

(1) 12 月の主な日程（教育委員会関係分）について

8 閉 会

－開会： 9:00－

山本教育長

只今から、令和7年第14回宮津市教育委員会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

それでは、次第に沿って会議を進行します。

■次第2「前回会議録の承認」

各委員よろしければ、尾崎委員と伊藤教育長職務代理者にお世話になります。

■次第3「会議録署名委員の指名」

会議規則第18条第2項の規定により、教育長において伊藤教育長職務代理者と林委員を指名しますので、よろしくお願いします。

■次第4「会期の決定」

本日の定例会の会期は、1日としたいと思います。  
これにご異議ありませんか。

出席委員

異議なし

山本教育長

ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日間と決定いたします。

山本教育長

■次第5「教育長報告」

【報告事項】

- 1 市立幼稚園、小中学校の状況について
  - インフルエンザによる学級閉鎖が宮津小・宮津中で、府中小は本日まで学校閉鎖となっています。
  - 令和7年度京都府公立学校優秀教職員として、宮津中の由利教諭が表彰されました。また、令和7年度京都府教育功労者として、堀口邦興様が文化財保護功労を受賞されました。
  - 本日の議事にもありますが、令和6年度事務事業に対する評価「意見書」を京都教育大学 竺沙教授にお世話になりました。
- 2 各種大会の結果
  - 京都府中学校駅伝競走大会が行われ、男女とも男山第三中学校が優勝しました。丹後では、男子は橋立中の7位が最高順位で、宮津中は18位。女子は橋立中の13位が最高順位で、宮津中は23位でした。
  - 第7回阿蘇・天橋立小学生駅伝競走大会の結果は、宮津市は日置小の5位が最高順位で、府中小11位、栗田小12位、吉津小9位でした。宮津小はインフルエンザにより1クラスが学級閉鎖となっていましたので、オープン参加となりました。  
皆さん、力を出し切っていただいたと思います。
- 3 各種の行事・事業から
  - 中学生の主張大会が11月8日に開催され、宮津中2年横川さんが発表され、来年度の京都府大会にも出場されることとなりました。

た。また、11月18日には人権市民の集いでも小中学生の作品の表彰や展示がありました。

○尾崎邑鵬氏の作品の寄贈があり、感謝状贈呈式を行いました。図書館にコーナーを設けていますので、是非、ご覧ください。

#### 4 宮津市教育フォーラムの実施について

○12月13日(土)午後1時30分から、歴史の館文化ホールにおいて、教育フォーラムを開催します。今年度は、小中学生、高校生、大学生が登壇しパネルディスカッションを行いますし、平田オリザ先生による基調講演を実施します。

#### 5 その他

○12月1日(月)総合教育会議を開催しますので、委員の皆様のご出席をお願いします。

それでは、委員の皆様から報告等がありましたらお願いします。

伊藤教育長職務代理者

11月は教育委員の研修もありましたが、人権の研修会や人権市民の集いに出席しました。中学生のがんばりがとてもよく分かり、素晴らしいものでした。小中学生の人権標語など、しおり等を作成し、多くの方に見てもらえる機会があればよいと感じました。ぜひ、市民に広く知ってもらえるように、色々な広報の仕方を考えていただきたいと思います。

また、広報みやづの11月号は教育の特集ということで、宮津市の教育の取り組みを分かりやすく掲載されていて、良かったと思いました。

### ■ 6 議事

山本教育長

それでは、議事に移ります。

**議第25号「宮津市教育委員会事務事業点検評価について」**事務局から説明をお願いします。

河合学校教育課長

宮津市教育委員会基本規則第16条第1項第16号の規定により、委員会の議決を求めるものです。

令和6年度に執行した教育委員会の事務事業について、進捗状況等の点検評価を行い、京都教育大学の竺沙教授から意見書をいただいております。報告書については、12月議会において宮津市議会にも報告を行う予定としております。

報告書の中から、ポイントとなる点をいくつか報告させていただきます。

始めに、学校教育課所管分でございます。

教育委員会会議の開催状況について、定例会は12回、臨時会は2回実施し、内容については記載のとおりです。

また、教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点について、子どもたちの多様な学びの場の実現に向けてなどを議題に、市長と意見交換等を行う総合教育会議を1月に開催しました。

教育委員会の活動状況では、市内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校への入学式・卒業式等の式典のほか、二十歳のつどい、中学生の主張大会等の各種行事や研修会に積極的に参加していただいたところ

次に、教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点についてです。

学校教育課所管として、【基本方針2】明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成から、新規事業を中心にご説明いたします。

質の高い学力の充実・向上では、コミュニケーション教育の推進として、ワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングを宮津学院において、年3回実施してまいりました。令和7年度からは、3小連携事業において、低学年で取り組みを開始しました。また、宮津の学びの深化プロジェクト、Team GALAPAGOSの実践研究等の充実を図りました。令和7年度からは、宮津中学校において、課題解決型学習にも取り組んでいます。

学校給食では、食材費の高騰に対する保護者負担軽減に向けた緊急支援を行ったほか、教育環境の整備・充実において、ICT環境の充実や養老小学校区の府中小学校へ通学する児童のため、スクールバスを新たに1台購入しました。

夢・志・豊かな感性を持った人づくりでは、不登校生徒の新たな学びの場として、宮津中学校の校内フリースクールを運営しました。令和7年2学期からは宮津小学校に設置し運営をしているところです。

竺沙先生からの意見書では、「総合教育会議と教育委員会会議」については、「子どもの新たな居場所づくり」について、特に不登校の問題について重要な意見交換がなされ、新しい学びを創造する未来志向の取り組みと現状の多様な子どもの実態に丁寧に向き合った取り組みを「多様な学びの場の実現」として同じカテゴリーで関連付けながら進め、総合教育会議において適切な議論が展開されていたというご意見をいただいています。

「基本方針2 明日のみやづを作り上げる人間性豊かな子どもの育成について」では、「宮津の新たな学び創造事業」が充実しており、コミュニケーション教育については、試行実施から本格実施に発展しているが、経験を重ねる中で宮津市ならではの実践になるように成熟させていただくとともに、児童生徒にどのような変化があるのか、また教員自身にどのような変化があるのかじっくりと見つめることが大切であるのご意見をいただいております。

「学びの深化プロジェクト」は主体性、学びあい、挑戦といった重要なキーワードが多くちりばめられ、響きあうような形で学びが深まっていくような印象を受ける。また、「おしごとマガジン」については、大いに注目を浴びたものであり、探究、課題解決型学習の実践が大きな成果を上げ始めていると評価いただいています。

永濱教育次長

社会教育課所管分のうち「基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進について」ご説明いたします。

ここでは、主に4つの施策に取り組んでいるところです。

生涯にわたる多様な学習機会の拡充としては、公民館事業や市立図書館事業があります。公民館事業については、館長・主事を中心に地域と共に活動をしていただいています。6年度の参加人数は、前年度と比較し、約1割増加しましたが、少子高齢化が進んでいる中、市民の健康づくりなどの多様な体験活動や学習ニーズに対応する学習習慣の定着の促進を進めていくこととしています。市立図書館では、来館者は9万人近い方の利用がありました。そこから本を手にとっていただけるような取り組みを進めていきたいと思っております。

人権教育・啓発の推進では、人権教育講座や人権問題研修の実施や障害者青年学級を開催し、人権教育や啓発に取り組みました。家庭や地域の教育力の向上では、青少年健全育成事業や地域学校協働活動に

取り組みました。

ふるさとみやづ学の構築では、地区公民館などでの「ふるさとみやづ学講座」に学芸員を派遣し、26講座を行いました。また、高校大学地域連携事業に取り組みました。高校大学地域連携事業は、市内3つの高等学校の魅力化と、将来のみやづを担う人材育成を図ることとして、大学連携、地域連携のコーディネーターをそれぞれ配置し、高校生の宮津をフィールドとした探究学習に関わることで、生徒自らの課題解決や実践活動の充実を図りました。

教育委員会事務事業総括書については、先程、説明いたしました、計画に基づく令和6年度の進捗状況について、実績のほかに、成果や課題・検証について記載しています。そのなかで、主な課題としましては、公民館や社会教育施設などの老朽化が挙げられます。また、公民館など各事業の参加者などの固定化や高齢化も課題です。

引き続き、基本方針に基づく、様々な施策に取り組むことで、市民へ生涯学習の機会の提供、現代の多種多様な人権問題への正しい理解や認識、青少年健全育成や地域学校協働活動による家庭や地域における教育力の向上、ふるさとみやづ学を通じた地域づくりや人材育成に進めていきたいと考えています。

意見書では、これまで宮津市が取り組んできた高校・大学・地域連携推進事業について評価いただき、この事業は小中学校での「ふるさとみやづ学」のその後の取り組みになることから、宮津市の学校教育の充実にもつながるもので、中学校から高等学校への接続を豊かなものにすることも期待されるというご意見をいただいています。

河森文化財保護担当課長

続きまして、文化財保護所管分でございます。

「基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用について」では、令和6年度に策定しました文化財保存活用地域計画の推進や市内の新たな指定文化候補の調査を実施しました。また、令和7年度までの2か年事業として、重要文化財旧三上家住宅の保存と活用として、耐震診断調査を行っています。令和7年度の重点方針としましては、文化的景観保護推進事業において、宮津地区の保存活用計画の策定を行うこととしています。また、先程申しました、旧三上家住宅の耐震診断調査の成果が出てきますので、保存活用計画の作成を令和8年度までの2か年事業として実施することとしています。

歴史文化を学び親しむ機会の創出では、休館中の宮津市歴史資料館にて、日本遺産北前船フォーラムにあわせて特別開館し、企画展を実施しました。また、宮津地区を対象とした多言語解説によるデジタルマップの作成を行いました。令和7年度は、京都府立丹後資料館と連携した歴史講座を初めて開催し、また、歴史資料館を特別開館し、天橋義塾開校150周年記念事業として企画展示やデジタルマップを活用したウォークイベントを開催しました。

意見書では、「文化財保存活用地域計画」の初年度にあたり、文化財保存活用推進協議会が設置され、事業を推進する体制が整えられた。

「ふるさとみやづ学」や「子ども学芸員」など子どもが関わる事業が重要で魅力的だにご意見をいただいています。子どもたちが歴史や文化に触れることで、その生き方を豊かなものにしていくことが期待される。文化財は日々の暮らしの中に活かされることが求められると思う。そのために保存し、継承し、活用することが必要で、計画が着実に進められることを期待するとご意見をいただいています。

山本教育長

ただ今の説明に関しましてご質問がありましたらお願いします。

尾崎委員 デジタルマップについて、NHK の京いちにちで河森課長が出演され、紹介をしておられ、内容も分かりやすく、とても良い事業だと思いました。

伊藤教育長職務代理者 旧三上住宅の活用について、国の重要文化財となると市での活用はできなくなるのでしょうか。

河森文化財保護担当課長 実際、カトリック教会では、週3日ほど解放されていると思いますので、活用はできると思います。

伊藤教育長職務代理者 ふるさとみやづ学の大人版はどのような内容の取り組みですか。

河森文化財保護担当課長 各地区公民館等で「ふるさとみやづ学講座」の実施や職員による、まち歩きのガイドや説明を行っています。今年度は天橋立などでも実施しました。

伊藤教育長職務代理者 図書館については、使いやすく、色々なイベントや取り組みも充実していますので、もっと多くの市民の方に知っていただけるように、図書館だよりの自治会回覧や周知の方法を工夫してほしいと思います。

永濱教育次長 公式 LINE や SNS では発信していますが、より多くの方に利用していただけるよう工夫していきたいと思います。

伊藤教育長職務代理者 公民館活動については、旧町外の各地区での公民館活動は活発で様々な取り組みをしておられますが、旧町内の活動があまり見えてこないですが、どのような取り組みをしておられますか。

山本教育長 旧町内には、自治会が5つのブロックに分かれていますので、それぞれに公民館活動推進員さんがおられ、ウォーキングやグラウンドゴルフ大会など様々な活動を行っていただいています。館長、主事といった方はいないので、課題はあると認識しています。

河合学校教育課長 次に、教育委員会以外の部所管の教育振興計画の進捗状況について、参考にご説明いたします。  
「基本方針3 豊かな心と体を育む文化芸術・スポーツの推進」については、文化芸術活動において、「街じゅうに音楽を、みやづ」プロジェクトや「Music Fusion in Kyoto 音楽祭」プロムナードコンサートの実施など、京都府との共催事業として実施しました。また、令和7年度は、大阪・関西万博会場での伝統文化の発信を行ったところです。  
スポーツに親しむ機会の充実では、糸井嘉男エンジョイベースボールパークやスポ GOMI 甲子園 2024 京都大会の開催協力など行いました。今年度は、京都ハンナリーズのホームタウン活動の実施を行うこととしています。  
以上、簡単ではございますが、説明とさせていただきます。ご承認、賜りますようお願いいたします。

山本教育長 ただ今の説明に関しましてご質問がありましたらお願いします。

藤井委員

事業のジャンルが限定されていて、参加しづらいものが増えているような気がします。もう少し身近に感じられて気軽に参加できる事業があれば良いと感じました。

山本教育長

他にないようでしたら、議第 25 号「宮津市教育委員会事務事業点検評価について」は承認することとして御異議ございませんか。

出席委員

異議なし

山本教育長

議第 25 号「宮津市教育委員会事務事業点検評価について」は提案どおり承認されました。

■ 7 その他

◆ 次回教育委員会日程

○ 定例会 12 月 22 日（月）午前 9 時～

他になければ、第 14 回宮津市教育委員会定例会を閉会します。  
ありがとうございました。

－ 閉会： 10：20－